

学校教育係 授業研究会の充実

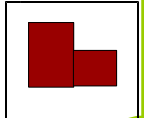
よりよい授業づくりのためには、校内研修において、授業改善を積み上げていくことが大切です。そこで、今回は、研修のつながりや積み重ねを重視した授業研究会の例を示します。

研修主題 「算数科における思考力・判断力・表現力を高めるための言語活動の工夫」

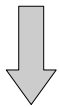


(授業者)

- ・前回の課題:いろいろな式を出し合えたが、交流は深まらなかった。
 - ・改善策:式だけでなく考えや理由も説明させ、交流が深まるようにする。
- 今回は、L字型の図形の面積を求める式と考えを説明させ、ねらいの達成に向け交流が深まるようにしたいと思います。(4年算数「面積のはかり方と表し方」)



授業研究会のポイント①:協議の視点を明らかにする。



(研修主任)

今日は、『式と考えを説明させたことは、交流を深めるのに有効だったか』について協議します。〈協議の視点〉

授業研究会のポイント②:協議の視点から成果と課題を集約する。



式だけでなく考えも説明させたことで、『子どもたちは、お互いの考えがよく分かるようになった』と思います。〈成果〉



ねらいである『長方形の面積の公式を活用すると面積を簡単に求められることを見いだす』ような交流の深まりは、なかったと思います。〈課題〉

授業研究会のポイント③:課題の原因と改善策を具体的に協議し、共通理解を図る。



交流が深まらなかった原因は、『比較・検討の視点がなかった』ことだと思います。〈課題の原因〉



例えば『みんなの考えで共通していることは?』と視点を示したら、ねらいの達成に向けて、更に交流が深まったのではないのでしょうか。〈改善策〉



次回は、『比較・検討の視点を明確にした授業』について研修しましょう。〈共通理解〉

※授業改善を積み上げていくためには、特に③を充実させることが大切です。



(次回授業者)

分数と小数のまじった計算の仕方を考える次の研究授業では、『いつでも使えるのは?』という視点を示したいと思います。(5年算数「分数のたし算とひき算」)

授業研究会で明らかにした成果は、日常の実践に活用するとともに、改善策を次の授業研究につなげて評価していくPDCAサイクルを生かし、年間を通して授業改善を図りましょう。

※授業研究会で意見を出しやすくするために、ワークショップ型や色別の付箋紙に意見を書いたものをまとめていく方法などもあります。